

一関学院5位



岩手日日新聞社
一関市南新町 60
郵便番号 021-8686
編集局 0191 (26) 4204
©岩手日日新聞社

号外

11年ぶり入賞 過去最高順位



スタートを切る一関学院の小倉(右) 24日、京都市西京極陸上競技場

詳細は25日付、紙面で

男子第68回・女子第29回全国高校駅伝競走大会は24日、京都市の西京極陸上競技場を発着点とする男子7区間(42・195キ)、女子5区間(21・0975キ)で行われ、本県男子代表の一関学院(23年連続27度目出場)は2時間5分20秒でチームとして過去最高の5位となり、2006年の第57回大会以来11年ぶり4度目の入賞を果たした。女子の盛岡誠桜(11年連続11度目出場)も1時間9分51秒で過去最高の13位だった。

一関学院は、1区の小倉朝陽(2年)がスタート直後から先頭グループに食らい付き、15位でたすきをつなぐと、2区の澤田大輝(3年)も粘り

の走りを見せ、外国人留学生在が集う3区で及川瑠音(2年)が日本人トップとなる区間5位の走り

で9位に押し上げた。

4区の佐藤陸(3年)、5区の菅原立(3年)、6区の東太陽(3年)も力走を繰り広げ、10位で最終7区へ。アンカー下館真樹(3年)は序盤からペースを上げ、中間点で6位まで上がると、トラックに入ってからもさらに順位を上げ、最終的に5人抜きの間賞を獲得する快走で5位でゴールした。

一関学院としては、04、06年の7位、03年の8位を上回り、タイムも04年の2時間5分42秒を超えていずれも過去最高となった。

ご購入のお申し込みはお近くの「岩手日日」販売店、または

◆フリーダイヤル……………(0120)260945

岩手日日ホームページ・電子新聞 <https://www.iwanichi.co.jp>